

令和3年第1回水戸市青少年問題協議会

(書面開催)

議 題

- (1) 本市における青少年育成団体等の現況及び本市による活動支援について
- (2) コロナ禍の中で実施した活動の事例

水戸市青少年問題協議会委員名簿

(令和3年3月22日現在)

No	氏名	選出区分	団体等名及び役職名
1	田山 喜子	学識経験者	茨城県青少年育成アドバイザーの会会長
2	堀井 武重	学識経験者	水戸市住みよいまちづくり推進協議会会長
3	浅川 宗典	学識経験者	(公社)水戸青年会議所副理事長
4	大津 辰夫	学識経験者	水戸地区保護司会事務局長
5	中山 一美	学識経験者	水戸更生保護女性会会長
6	田山 きよ子	学識経験者	水戸市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会副会長
7	澤田 幸宏	学識経験者	水戸市子ども会育成連合会会長
8	八木岡 しづ子	学識経験者	水戸女性会議会計
9	立川 力	学識経験者	水戸市青少年相談員連絡協議会会長
10	亀田 龍太郎	学識経験者	水戸市青少年育成推進会議地域・環境部長
11	黒木 勇	学識経験者	水戸市PTA連絡協議会副会長
12	生越 達	学識経験者	茨城大学教育学部長
13	水嶋 陽子	学識経験者	常磐大学人間科学部教授
14	小宮山 祐子	関係機関	水戸家庭裁判所主任家庭裁判所調査官
15	松本 正勝	関係機関	水戸警察署生活安全課長
16	高橋 活夫	関係機関	茨城県中央児童相談所児童福祉専門監
17	吉井 雅一	関係機関	水戸市学校長会代表 (生徒指導部長)
18	鎮目 英俊	関係機関	水戸市学校・警察連絡協議会幹事
19	綿引 健	市議会議員	市議会代表
20	後藤 通子	市議会議員	市議会代表
会長	高橋 靖	地方公共団体の長	水戸市長

(順不同・敬称略)

議題(1) 本市における青少年育成団体等の現況及び本市による活動支援について

本市では、青少年・若者の健全育成を推進するため、2016（平成28）年度に策定された水戸市青少年・若者育成基本計画（第2次）に基づき、市内の様々な青少年育成団体等の事務局をつとめるなど、団体の活動支援を行っている。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの青少年育成団体等が活動自粛や事業の中止を余儀なくされ、非常に大きな影響を受けた。

一方で、感染リスクを最小限に抑えた新たな事業を実施する団体や、オンラインを活用した事業を実施して活路を見出した団体もある。

各青少年育成団体等の活動状況と本市による活動支援については以下のとおりである。

1 本市における青少年育成団体の活動の現況と市による活動支援について

(1) 水戸市青少年育成推進会議

団体概要	<p>水戸市青少年育成推進会議は、本市の総合的な青少年育成運動の推進母体であり、様々な関係機関・団体により構成され、家庭、地域、学校、行政が一体となり、青少年の健全育成に資する様々な活動を行っている。</p> <p>本部組織には、総会、理事会、3つの専門部会、地区会長・事務局長会議があり、公益社団法人茨城県青少年育成協会と連携を図りながら、青少年の育成活動を推進している。</p> <p>地区組織は、16の中学校区ごとに地区青少年育成会があり、本部と連携を図りながら、地区の特色を活かした育成活動を展開している。</p>	
設立	平成10年7月（水戸市青少年育成連絡協議会を再組織化）	
構成団体 ()は団体数	各地区青少年育成会（16） 関係団体等（63）	
主な活動状況	通常どおり実施	<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌「道芝」の発行 ・青少年指導者研修会（2回実施）
	形を変えて実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定期総会（書面開催） ・第35回水戸市少年の主張大会（水戸市 YouTube チャンネルに発表の音声を掲載） ・ワクワクドキドキみんなであそぼ！青少年若者体験活動事業（規模縮小等） ・「家庭の日」絵画・ポスターと作文コンクール（募集期間延長、学校取りまとめを止めて直接市役所に提出する方法に変更） ・第9回中学生交流会（会議アプリ Zoom によるオンライン開催） ・社会環境向上研修会（推進会議 YouTube チャンネル

		によるオンライン開催，一定期間視聴可能とした)
	中 止	なし
本市の活動支援	<p>水戸市青少年育成推進会議の事務局として，運営・調整・資料作成等を行うとともに，関係機関・団体との連絡調整を行っている。</p> <p>令和2年度は，オンラインを活用した事業実施に多く取り組むこととなったため，技術面や調整に係る支援を積極的に行った。</p> <p>※水戸市青少年育成推進会議補助金を毎年交付している。</p>	

(2) 水戸市子ども会育成連合会

団体概要	<p>水戸市子ども会育成連合会は，「子ども達の手による子ども達のための子ども会活動」を推進するため，育成者及び指導者の資質向上並びに子ども会育成会の活性化を図ることを目的として，次世代の水戸をリードする子ども一人ひとりの持つ「生きる力」を引き出し，健やかな成長を支援するための様々な活動を企画・運営している。</p>	
設立	昭和30年	
構成団体 ()は団体数	各学区子ども会育成連合会 (26)	
主 な 活動状況	通常どおり実施	なし
	形を変えて実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期総会（書面開催） ・ 子ども会スタンプラリー（子ども会親善球技大会の代替事業として，年度途中に新たに企画・実施）
	中 止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第56回水戸市子ども会親善球技大会 ・ 子ども会チャレンジ体験会 ・ 子どもフェスタ in 水戸 ・ 第40回水戸郷土かるた中央大会
本市の活動支援	<p>水戸市子ども会育成連合会の事務局として，各事業や会議等の運営・調整・資料作成等を行うとともに，関係機関・団体との連絡調整を行っている。</p> <p>※水戸市子ども会育成連合会補助金を毎年交付している。</p>	

(3) 水戸市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会

団体概要	<p>水戸市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会は，市内のボーイスカウト，ガールスカウト各団相互の研究と交流のため，連絡調整を行うとともに，水戸市の青少年育成のための関連事業に積極的に参加するなど，青少年の親睦及び健全育成を図るため様々な活動を企画・運営している。</p>	
設立	昭和48年7月	
構成団体	ボーイスカウト水戸 (5)	

()は団体数	ガールスカウト茨城県（6）	
主 　　な 活 動 状 況	通常どおり実施	なし
	形を変えて実施	・定期総会（書面開催）
	中 　　　　止	・指導者研修会 ・スカウト大会 ・新年懇話会
本 市 の 活 動 支 援	<p>水戸市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会の事務局として、各事業や会議等の運営・調整・資料作成等を行っている。</p> <p>令和2年度は、事業中止が相次ぐ中、広報「みと」においてスカウト活動を紹介する特集記事を掲載し、団体のPR活動を行った。</p> <p>※水戸市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会補助金を毎年交付している。</p>	

2 本市における青少年団体の活動の現況と市による活動支援について

(1) 水戸市サブリーダーズ会

団 体 概 要	水戸市に在住又は水戸市内の高等学校に通う高校生によって組織されるボランティア団体であり、水戸市教育委員会の支援のもと、休日や祝日、長期休業日などに行われている子ども会行事や、水戸市が主催する事業等の“補助指導者”として活動している。	
設 　　立	昭和50年10月5日	
構 成 団 体 ()は団体数	なし	
主 　　な 活 動 状 況	通常どおり実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定期総会 ・キャンプ研修会 ・救急救命講習会 ・定例会
	形を変えて実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェルキャンドルを作ろう（会員が講師となる市民募集型の行事、規模縮小） ・<u>要請事業（各団体が主催する事業に補助指導者として会員を派遣）</u> ・姉妹都市親善友好少年交歓研修への協力（事業が中止となったため、姉妹都市である福井県敦賀市の研修生に水戸のPRとして、オリジナルかるたである「水戸サブかるた2020」を作成し、贈呈した。） ・三年生を送る会
	中 　　　　止	・入会希望者説明会
本 市 の	水戸市サブリーダーズ会の事務局として、各事業や定例会等の運営・調	

活動支援	<p>整・資料作成等を行っているほか、会員の指導を行っている。</p> <p>令和2年度は、コロナ禍の影響もあり活動を求めて会員が急増したことから、市が事務局として企業等へ資金援助の依頼を行ったほか、NPO法人等の事業に会員の派遣要請をしていただけるよう依頼を行った。</p> <p>※水戸市サブリーダーズ会補助金を毎年交付している。</p>
------	---

(2) 水戸少年少女発明クラブ

団体概要	<p>水戸少年少女発明クラブは、発明くふうの楽しさと創作する喜びを体得することにより、創造性豊かな人間形成を図ることを目的として、科学技術に関する興味や関心を追求する場を提供し、科学的で独創的な発想に基づく創作活動を行っている。</p> <p>クラブ員は、市内小学校3年生の児童から中学校3年生の生徒までを対象とし、水戸市少年自然の家において、専門技術をもった指導員によるアドバイスをもらいながら、年20回程度活動している。</p>	
設立	昭和57年5月	
構成団体 ()は団体数	なし	
主 な 活動状況	通常どおり実施	なし
	形を変えて実施	<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ工作（参加者の人数を制限） ・アイデア工作（参加人数を制限し、これまで可能だった保護者の見学は密を避けるため休止とした） ・親子工作（参加者の人数を制限）
	中 止	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学 ・アイデア工作の一部
本市の 活動支援	水戸少年少女発明クラブの事務局として、各事業や会議等の運営・調整・資料作成等を行っている。	

(3) みと青年会

団体概要	<p>みと青年会は、水戸市民憲章に基づき、青年の連携を強め、現代社会の中で青年のなすべき方向を追求し、地域に根ざす青年活動の発展を目的としている。</p>	
設立	昭和56年5月21日	
構成団体 ()は団体数	なし	
主 な 活動状況	通常どおり実施	なし
	形を変えて実施	・キャンドルナイト in 水戸芸術館（ルート設定、要所

		に消毒液設置，注意喚起，宣伝自粛等) <ul style="list-style-type: none"> ・キャンドルアート in 萩まつり ・キャンドルナイト in 歴史館いちようまつり ・キャンドルナイト in 夜・梅・祭
	中 止	・各行事におけるキャンドルアート参加（まちなかフェスティバル，水戸黄門漫遊マラソン等）
本市の活動支援	※みと青年会補助金を毎年交付している。	

3 関連団体の活動の現況と市による活動支援について

(1) 姉妹都市親善友好少年交歓研修使節団

団体概要	<p>本市と福井県敦賀市は，天狗党の争乱を契機にして培われた両市の歴史的経緯を踏まえ，昭和40年に姉妹都市の盟約を結んで以降，毎年小学校5年生の児童を中心とする使節団を組織し，7～8月に敦賀市からの研修使節団を迎え，3月に敦賀市へ研修使節団を派遣している。</p> <p>少年少女の研修を通じて，両市を結ぶ絆を深めるとともに青少年の豊かな知性と郷土愛の高揚に努めている。</p>	
設立	昭和41年	
構成団体 ()は団体数	なし	
主な活動状況	通常どおり実施	なし
	形を変えて実施	・第55回姉妹都市親善友好少年交歓研修事業（敦賀市への訪問を中止し，今後，オンライン交流会として実施予定）
	中 止	・第53回姉妹都市親善友好少年交歓研修事業（敦賀市使節団の水戸市への受け入れ）
本市の活動支援	(市教育委員会の主催事業)	

(2) 水戸市新春たこあげまつり実行委員会

団体概要	<p>水戸市新春たこあげまつり実行委員会は，青少年育成団体が一体となったたこあげまつりを準備，実施，運営することで，青少年の体験活動の場と地域との交流機会を提供し，青少年の健全育成活動を支える環境を整備することを目的とした団体である。</p>	
設立	昭和48年	
構成団体 ()は団体数	水戸市子ども会育成連合会，水戸市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会，認定NPO法人水戸こどもの劇場，水戸市レクリエーション協会，	

	みと青年会，水戸市サブリーダーズ会，水戸少年少女発明クラブ	
主 　　な 活 動 状 況	通常どおり実施	なし
	形を変えて実施	なし
	中 止	・第 49 回水戸市新春たこあげまつり
本 市 の 活 動 支 援	実行委員会の事務局としてたこあげまつりの運営を支援するとともに，市新春たこあげまつり実行委員会補助金を毎年交付している。	

議題(2) コロナ禍の中で実施した活動の事例

各団体において，コロナ禍において活動を実施するためには，感染症対策だけでなく，構成団体や関係者からの理解を得る必要があり，議論を重ねたが実施に至らなかった団体も多かった。

収束時期が未だ見通せないコロナ禍において，少しでも早い活動再開に向け，これまで実施された様々な活動事例をもとに，そのアイデアを生かし，各団体の活動スタイルに合った形へと適合させていけるかどうかが重要になってくる。令和 2 年度に，新型コロナウイルス感染症の感染対策を行った上で実施された活動事例については以下のとおりである。

1 開催方法を変更して実施した事例

(1) 第 35 回水戸市少年の主張大会（別冊資料 1 頁参照）

概 要	水戸市少年の主張大会は，市内の中学生が日頃感じたことや考えていることを主張文にまとめて発表するものであり，毎年開催している大会をとおして，中学生の社会に対する関心を高めるとともに，現在どのような問題と向き合い，どのような意見を抱いているのかについて，社会全体で共に考える機会を得ることを目的として実施している。
主 催	水戸市青少年育成推進会議，第 70 回“社会を明るくする運動”水戸市推進委員会，水戸市教育委員会
公 開 日	令和 3 年 2 月 1 日（月）～
会 場	オンライン
主 　　な 変 更 点	<p><例 年></p> <p>ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールでの発表会 入場者数は約 800 人</p> <p><本年度></p> <p><u>中止となった発表会の代わりに，水戸市 YouTube チャンネルを活用し，発表の様子（音声）を撮影し，掲載した。</u></p> <p><u>掲載開始 1 週間での動画の再生数が 8,000 回超。</u></p> <p><u>水戸市青少年育成推進会議の会報誌「道芝」において市内全戸に周知を行った。</u></p>

	(参考：掲載した動画の URL https://www.city.mito.lg.jp/001373/001385/p023102.html)
備考	青少年の声に大人が耳を傾けるという本来の趣旨を損なうことなく、例年以上に多くの方にお聴きいただくことができた。

(2) 中学生交流会（別冊資料 2～3 頁参照）

概要	中学生交流会は、青少年がお互いに理解しあい、自らが社会の一員であることを自覚し、社会参加への意欲を高めるとともに、幅広い視野を持つことを目的として、市内の中学生が、与えられたテーマについて話し合い、意見交換を行う、中学生同士の交流の場を提供することを目的として開催する。
主催	水戸市青少年育成推進会議，水戸市教育委員会
日時	令和 2 年 12 月 22 日（火）午後 4 時 30 分～6 時 30 分
会場	各中学校及び水戸市役所（オンライン）
主な変更点	<p><例 年> みと文化交流プラザ（五軒町）での交流会（12 月） 参加者数は約 60 人（各校 3 名×21 校）</p> <p><本年度> <u>対面での交流会を中止した代わりに、オンライン会議アプリ Zoom（ズーム）を活用し、参加生徒の在籍する中学校同士と市役所をオンラインでつなぎ、交流会を行った。</u> オンライン参加できなかった学校は、書面で参加。 参加者数 31 人（16 校）</p>
備考	<p>各校の感染症対策の取組等についての意見をいただく中には、中学生がコロナ禍において抱えていた葛藤や不安、疑問などが現れており、それらを同世代の仲間と共有することができた。</p> <p>報告書については、各学校や図書館等に配布したほか、水戸市ホームページ内、水戸市青少年育成推進会議のページに掲載している。</p>

(3) 社会環境向上研修会（別冊資料 4 頁参照）

概要	青少年を取り巻く環境について学び、家庭や地域における教育力を向上させることを目的とした研修会を開催した。
主催	水戸市青少年育成推進会議，水戸市教育委員会
日時	令和 3 年 3 月 24 日（水）～4 月 4 日（日）
会場	オンライン
主な変更点	<p><例 年> 市民センターのホール等での講演会（2 月） 対象は水戸市青少年育成推進会議会員及び水戸市青少年相談員連絡</p>

	<p>協議会会員 参加者数 約 30 人 <本年度> <u>水戸市青少年育成推進会議 YouTube チャンネルを新たに開設し、一定期間を設けて掲載した（講師への質問の代わりに視聴者へのアンケートを実施した）。</u></p>
備 考	<p>これまで、内容に興味があり参加したくても、研修会当日に都合がつかないため不参加となる場合があったが、YouTube チャンネルを活用したことで視聴できるチャンスが広がり、より多くの方が研修会に参加していただける環境ができた。</p>

2 新たな事業等を企画するなどして実施した事例

(1) 子ども会スタンプラリー（別冊資料 5～6 頁参照）

概 要	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった「水戸市子ども会親善球技大会」の代替事業として開催するとともに、活動が思うようにできない状態にある水戸市内の子ども会の活動を後押しすることを目的とする。</p>
主 催	水戸市子ども会育成連合会
日 時	令和 2 年 9 月 27 日（日） 午前の部…10:30～12:00 午後の部…13:30～15:00
会 場	アダストリアみとアリーナ
特 徴	<p>会場内の 6 つのブースをスタンプラリー形式で回り、各ブースにおけるゲームの得点の合計点をチームごとに競うもの。 ○ブース内容：フェイスガード作り、ペットボトルダーツ、ストラックアウト、ティーボール、紙飛行機とばし、じゃんけん</p> <p>子ども会親善球技大会が中止となり、活動機会が失われてしまった子ども会会員がいることを鑑み、代替事業として企画された。</p> <p><u>十分な換気機能を備えた広い会場を生かし、ソーシャルディスタンスを保つなど感染症対策をしつつ、様々な体験活動ができるという事例を作る</u>ことを目的の一つとした。</p>
備 考	<p>参加数：15 チーム 73 名 ※ 1 小学校区当たり 2 チームまで参加可、1 チーム 6 人までとした。</p>

(2) 新規要請事業の開拓

概 要	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、例年いただいていた会員への派遣要請（令和元年度は 50 件）のほとんどが中止となった。</p> <p>そこで、会員の活動の場を求め、庁内各課や NPO 法人等に積極的な宣伝を行ったところ、新たに 71 件の派遣要請につながるなど、活動機会</p>
-----	---

	を保持することができた。
主 催	水戸市サブリーダーズ会
特 徴	また、これまでの要請元の多くは子ども会であり、内容もお手伝いが主であったのに対し、NPO 法人による社会貢献事業（ピンクリボン運動、放課後子ども教室、子ども大学等）に参加・協力することで、会員の社会参加の機会拡充につながった。

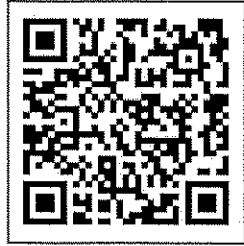
令和3年第1回水戸市青少年問題協議会
(書面開催)

別冊資料

中学生の主張を聴いて 一緒に考えてみませんか

第35回水戸市少年の主張大会

水戸市公式YouTubeチャンネルにて**音声**を発信します！



令和
3年

2月1日(月)公開開始

←QRコードを読み込んで聴いてみよう！

URL: <https://www.city.mito.lg.jp/001373/001385/p023102.html>

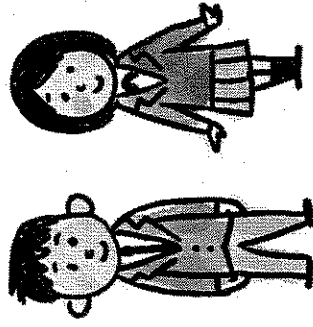
※動画（音声）は予告なく終了
させていただく場合がございます
ので、あらかじめご了承ください。

全部で17名(校)の発表が聴けるよ！

水戸市では、市内の中学生が日頃感じたことや考えていることを主張文にまとめ、発表する「水戸市少年の主張大会」を毎年開催しています。

大会をとおして、中学生が、社会に対する関心を高めるとともに、現在どのような問題と向き合い、どのような意見を抱いているのかについて、社会全体で共に考える機会を得ることを目的としています。

新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、第35回（令和2年度）水戸市少年の主張大会は「中止」となりましたが、優秀賞受賞者による主張文発表を録音しましたので、ぜひお聴きください。



主催：水戸市青少年育成推進会議・水戸市教育委員会・第70回“社会を明るくする運動”水戸市推進委員会

お問合せ先：水戸市役所 生涯学習課 ☎029-306-8692

1 趣 旨

水戸市教育委員会及び水戸市青少年育成推進会議では、青少年がお互いに理解し合い、自らが社会の一員であることを自覚し、社会参加への意欲を高めるとともに、幅広い視野を持つことを目的として、市内の中学生が、与えられたテーマについて話し合い、意見交換を行うことで、社会参加をへの意欲を高めるとともに、中学生同士の交流の場を提供することを目的として中学生交流会を開催する。

2 日 時

令和2年12月22日(火) 16:30~18:30

*事前接続テスト:令和2年12月15日(火)16:20~17:00

3 開催方法

ミーティングアプリ ZOOM (ズーム) を使用してのオンライン交流会

協力: 認定NPO法人 水戸こどもの劇場 (アカウント使用: ホスト)

*オンライン会議に参加できない学校には、同じ内容を話し合ってもらい、書面で提出していただいた。

*事前にテーマに沿ったアンケートを各校に行い、アンケートの内容に沿って話し合いを行った。

4 テーマ

【コロナ禍で私たちができることとは~協働の中で最適解を考える~】

水戸市立緑岡中学校の生徒が考案

(説明)

昨年度末から、新型コロナウイルスが広がり、「この先学校はどうなってしまうのだろうか」、「いろいろな制限の中でできることはないだろうか」など、不安や疑問を抱いたことはないでしょうか。感染症にかからないようにするために、学校生活や家庭生活において、ソーシャルディスタンスを保つことやマスクの着用、手洗いの励行など様々な取り組みを意識していることでしょうか。実際、活動が縮小や自粛されている中、もっといろいろなことをしたいと考えている人もいることでしょうか。しかしながら、この状況下では、難しいこともあります。そのような中で、各学校において、工夫している活動や効果的であった取り組みなどを紹介することで、今後の学校生活の参考にしていきたいと考えます。さらに、意見交換の中からヒントを得て、「私たちができることはどんなことがあるか」を協議することにより、生徒主体でできることを各学校に提案できるようにしたいと私は考え、今回のテーマにしました。

5 オンライン参加校（15校）

水戸市立第一中学校／水戸市立第二中学校／水戸市立第三中学校
水戸市立緑岡中学校／水戸市立飯富中学校／水戸市立国田義務教育学校
水戸市立第五中学校／水戸市立見川中学校／水戸市立双葉台中学校
水戸市立笠原中学校／水戸市立石川中学校／水戸市立千波中学校
水戸市立内原中学校／茨城大学附属中学校／智学館中等教育学校

参加人数：29名

（内訳：1年生3名 2年生23名 3年生3名）

オンライン参加校グループセッション班分け

A班：水戸市立第一中学校／水戸市立第二中学校／水戸市立第三中学校

B班：水戸市立緑岡中学校／水戸市立飯富中学校／水戸市立国田義務教育学校

C班：水戸市立第五中学校／水戸市立見川中学校／水戸市立双葉台中学校

D班：水戸市立笠原中学校／水戸市立石川中学校／水戸市立千波中学校

E班：水戸市立内原中学校／茨城大学附属中学校／智学館中等教育学校

6 書面参加校（6校）

水戸市立第四中学校／水戸市立赤塚中学校／水戸市立常澄中学校
茨城中学校／水戸英宏中学校／茨城朝鮮初中高級学校

7 事前アンケート

各校に事前に交流会のテーマを公開し、アンケート形式で御意見をいただいた。
内容は、巻末「参考資料1」参照（11～15ページ）

令和2年度社会環境向上研修会 開催要項

1 趣 旨

本市及び市青少年育成推進会議が関係機関と連携を図りながら取り組んでいる、青少年の健全育成と非行防止活動に際しては、青少年育成者がさまざまな青少年環境を的確に把握した上で、青少年を取り巻く有害環境の浄化に加え、家庭や地域における教育力を向上させていくことが重要である。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響による市内小中学校の臨時休業に加え、学校行事の多くが中止となるなど、子どもたちが受けた影響は計り知れないことから、コロナ禍において子どもたちが抱えるストレスや不安、悩みに大人が寄り添えるよう、現状を把握する必要がある。

そこで、本研修会は、水戸市総合教育研究所において「教育相談」を行っている担当者から、相談事例や相談状況、新型コロナウイルス感染症の影響等についての話を聞き、今後の活動に生かすことを目的として開催する。

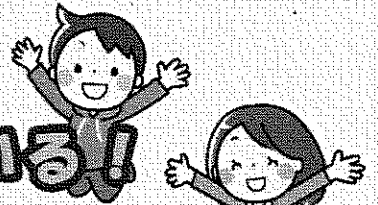
なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、水戸市青少年育成推進会議 YouTube チャンネルを活用した限定公開という形態での研修会とする。

- 2 開催方法 水戸市青少年育成推進会議 YouTube チャンネルによる限定公開
- 3 配信期間 令和3年3月24日（水）～4月4日（日）
- 4 対 象 水戸市青少年育成推進会議（役員及び専門部会部員）
水戸市青少年相談員
- 5 内 容 講演会（講演時間 37分）
演 題：相談業務等の現状から見える子ども達の今
～コロナ禍の子ども達の抱えるストレス～
講 師：水戸市総合教育研究所 青少年相談員 白石 力 氏
- 6 主 催 水戸市青少年育成推進会議，水戸市教育委員会
- 7 備 考 本研修会の映像については、水戸市青少年育成推進会議（役員及び専門部会部員）及び水戸市青少年相談員のみ閲覧が認められていますので、動画 URL の外部流出に御注意いただくとともに、複製や SNS 等への掲載をしないでください。
- 8 問 合 せ 水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課
電 話：029-306-8692 / F A X：029-306-8693
メール：seisyounen@city.mito.lg.jp

子ども会活動応援事業

チーム対抗!

きみ ちょうせん ま
君の挑戦を待っている!



子ども会スタンプラリー

本事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となった子ども会親善球技大会に替わる事業として、活動が思うようにできない状態にある水戸市内の子ども会の活動を後押しし、子どもたちが安心して楽しめる場として開催するものです。

日時 令和2年9月27日(日)

午前の部…10:30～ 13学区

午後の部…13:30～ 13学区

※午前・午後の
学区の振り分けは
裏面をご覧ください。

会場 アダストリアみとアリーナ

(所在地: 水戸市緑町2-3-10)

対象 市内の子ども会会員(小学1年～6年生)

参加費 無料

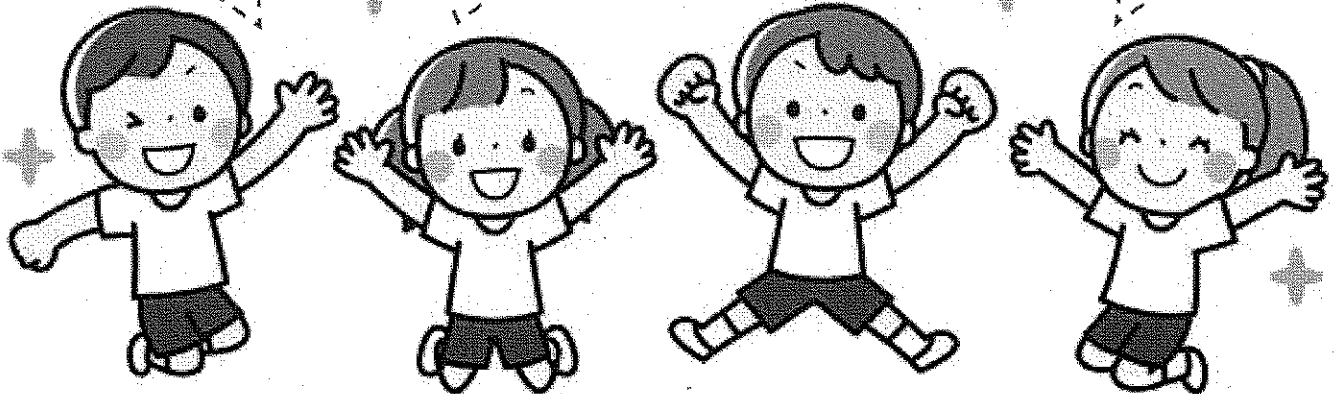
※ 裏面の参加方法をよくご確認の上、お申込みください。

かく
各ブースで
こうとくてん
高得点を
ねらおう!

すべて
むりょう さんか
無料で参加
できるよ

かんせんしょうたいさく
感染症対策を
しっかりして
たの
楽しもう!

チームで
もうしこ
申し込んでね



主催: 水戸市子ども会育成連合会

アダストリアみとアリーナでスタンプラリーを楽しもう

チームごとに会場（体育館）内にある6つのブースを回り、協力プレイで様々なお題にチャレンジ！上手くクリアして高得点をたたき出そう！

①こんなのできた	コロナウイルス感染対策の必需品。身近なもので予防グッズを作ってみよう。
②みんなで集中！！	ペットボトルの穴の大きさに難易度が変わるよ。みんなで集中して高得点を狙おう。
③何枚抜けるかな？	9個のボールを的にめがけてパーフェクトを狙おう。
④狙い撃ち	止まったボールを思いっきり飛ばせ！！何点取れるかな？
⑤遠くへ行きたい	遠くにいけるものな～んだ？自分で作って飛ばしてみよう。制限時間ギリギリまで工夫してね。
⑥驚愕の二発勝負	ゲーチョコキパーで勝負！！

<エントリー方法> ※1チーム3～6名、1学区最大2チームまで

別紙「子ども会スタンプラリー参加申込書」に必要事項を記入し、水戸市子ども会育成連合会事務局までFAX、または本紙下部のQRコードより、メールフォームを立ち上げお申込みください。

申込締切 令和2年9月14日（月）必着

<当日の受付方法>

各学区の指定された時間までに、「アダストリアみとアリーナ2階 メインアリーナ前」に集合してください。

午前の部 (集合時間10時30分まで)	飯富 石川 稲荷一 稲荷二 笠原 上中妻 河和田 鯉淵 新莊 常磐 内原 堀原 見川
午後の部 (集合時間13時30分まで)	双葉台 梅が丘 大場 上大野 寿 下大野 城東 妻里 浜田 緑岡 吉沢 吉田 渡里

<持ち物>

上靴 水筒 リュックサック 靴入れ袋 マスクの着用をお願いします。

<保護者・引率者の見学について>

新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者・引率者の入場は各チーム2名以内とさせていただきます。あらかじめご了承ください。よろしくお願いいたします。

<新型コロナウイルス感染拡大防止のために>

- ・当日を含む14日以内に発熱及び体調不良の症状がある方は、参加をご遠慮ください。
- ・マスクを必ず着用し、ご参加ください。
- ・受付にて検温と手指消毒を実施させていただきます。(体温が37.5℃以上の方は入場できません)
- ・当日、「いばらきアマビエちゃん」へのメール登録をお願いいたします。
- ・各ブース及び使用する備品の消毒、会場の換気を徹底いたします。



<問合せ・申込先>

水戸市子ども会育成連合会事務局（水戸市役所 生涯学習課内）

TEL : 029-306-8692 FAX : 029-306-8693

MAIL : seisyounen@city.mito.lg.jp

参加申込用メールフォーム